

二年制第4期校友会会報



- ・会長・各部長挨拶…………… P. 1
- ・平成 29 年度事業報告・30 年度計画…………… P. 2
- ・各科活動報告…………… P. 3
- ・クラブ活動報告…………… P. 4～6
 - 自然を愛する会、ふるさと大発見クラブ、太極拳クラブ、民踊クラブ、こころの健康クラブ、毛筆クラブ
- ・校友会独自事業（懇親旅行）…………… P. 7
- ・校友会独自事業（自主学習会）…………… P. 8
- ・熊連協事業（学習会、芸能祭、花壇ボランティア）…………… P. 9
- ・熊連協事業（文化祭）…………… P. 10
- ・川柳・俳句・短歌、県連協プラチナフェスティバル、編集後記…………… P. 11

平成 29 年度号

彩の国いきがい大学

熊谷学園二年制第4期校友会



<http://yuurenkyo.net/index.html>

会長挨拶

“ 校友会はプラットホーム ”

佐藤 健一



丁度1年前の暮れと正月は、医師からダブルの異なった宣告を受け、これで終わったかと覚悟を決めたが、皆様の温かい精神的なサポートのお陰で今は、元気に正常な生活を営んでおります。有り難うございました。

さて、我が2-4期校友会も早三年経ようとしています。石の上にも三年とも言います。卒業後、今まで話したこともない人とも話せたり、この三年の間お互いに気心が知れ、家族とは違う、安心感、会うだけで気持がほっとする真の友達、これも親友というのか？

自治会長2年、校友会長3年務めさせて戴きましたが、3つの科が夫々個性があり、特徴があり、普段はバラバラな活動をしているが、時には懇親旅行、自主学習会で一同に会し、旧交を温める。“校友会はプラットホーム”であり、港であり、あそこに行けばみんなと会えるオアシスになってくれればなあと思っています。

私は2年制4期生の3つの科の皆さんと親しくさせてもらう内に、段々、誇りに思うようになってきました。そして、やっと安心出来る友が出来、私達の活動はこれからが本番だと思っています。お互い、いたわりあい、さりげなく声掛けをし、無理することなく、これからも楽しく、明るく、元気に暮らせますようお祈り申し上げます。

総務部

早さを感じた一年

塚田 東司



昨年の定期総会において、大役を仰せつかり、早一年、振り返ってみると、会員の皆様が手を取り合い、助け合い、お互い健康寿命を延ばし、いかに楽しく長く生きていけるかが一番の総務の仕事だと考えています。花ボラから始まり、クラブ活動、懇親旅行、文化祭、芸能祭等いっぱいありましたが、行事が有れば有るほど仲間の絆が増していくものと感じます。2-4期校友会に入っていて良かったなあ~と思って頂けるようにと考えています。

企画部

仲間の有り難さを実感

柴山 幸子



年齢や状況の変化に応じた、校友会活動の在り方はどのようなものか。ふと頭の隅に置きながら、企画担当をさせて頂きました。しかし、会員の皆様の熱心さと真面目さに直面し、良からぬ思いを恥ずかしく感じ反省した始まりでした。今、明るく、楽しく、仲良く、安心できる仲間の有り難さを実感しています。

四人の委員のチームワークと、皆様のパワフルで優しいご支援により、各行事を盛立てて頂き感謝申し上げます。

広報部

いつも笑顔を忘れずに

岡田 伸江



広報部長なんてできるかしらと思いつつスタートした一年前。「せやーねえ」「何とかなる」「楽しくしましょう」と励まし協力してくれた仲間がいました。そのおかげで広報誌も作成し会員の皆様の元にお届けすることができました。影になり支えてくれた仲間のお陰と本当にうれしく思うとともに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。私にできることは笑顔をお届けすることです。これからも校友会の為に協力したいと考えています。

平成 29 年度事業報告

年月	2-4 期校友会	熊連協・県連協
H29 年 4 月	総会 4/5	
5 月	三役会議・理事会 5/17	花壇ボランティア開始 5/23
6 月		
7 月	三役会議・理事会 7/5	第 1 回公開学習 7/12
8 月		
9 月	三役会議・理事会 9/6	熊連協 学習会 9/11 彩の国プラチナフェスティバル 9/29～10/2
10 月	懇親旅行 (36 名参加) 10/4 三役会議・理事会 10/18	
11 月		熊連協 第 28 回文化祭 11/16～19
12 月	理事会、自前講座 (24 名参加) 12/6	第 2 回公開学習 12/20
H30 年 1 月	三役会議・理事会 1/24	
2 月	新旧役員会 2/21	熊連協 第 25 回芸能祭 2/17
3 月	三役会議・理事会 3/14	県連協 第 6 回芸能祭 (川越) 3/7 花壇ボランティア最終 3/14 (累計参加 135 名)

平成 30 年度事業計画

年月	2-4 期校友会	熊連協・県連協
H30 年 4 月	総会 4/4	
5 月	執行部会議・理事会 5/16	花壇ボランティア開始 5/23 福祉・環境
6 月		第 1 回公開学習 (大宮ソニック) 6/19 花ボラ 6/13 ふる伝、6/27 美工
7 月	執行部会議・理事会 7/4	花ボラ 7/11 福祉・環境、7/25 ふる伝
8 月		花ボラ 8/8 美工、8/22 福祉・環境
9 月	執行部会議・理事会 9/5	熊連協 学習会 (熊谷市文化会館) 9/8 彩の国プラチナフェスティバル 9/28～10/1 花ボラ 9/12 ふる伝、9/26 美工
10 月	懇親旅行 企画部立案未定 ※ 執行部会議・理事会 10/3	花ボラ 10/10 福祉・環境 10/24 ふる伝
11 月		熊連協 第 29 回文化祭 (妻沼) 11/8～11 花ボラ 11/14 美工
12 月	執行部会議・理事会 12/5	第 2 回公開学習 (大宮ソニック) 12/13 花ボラ 12/12 福祉・環境
H31 年 1 月	執行部会議・理事会 1/23	
2 月	新旧役員会 2/20	熊連協 第 26 回芸能祭 (熊谷市文化会館) 2/16
3 月	執行部会議・理事会 3/6	県連協 第 7 回芸能祭 3/初 花壇ボランティア最終 3/13 ふる伝

※懇親旅行の実施期日は新体制の企画部で立案します。期日決定をご注視下さい。

福祉・環境科

細〜く、長〜く

卒業後も仕事に地域活動の参加、そして自己実現のための活動と忙しく毎日過ごしている。科の初代代表が「細く〜、長く〜」会を続けたいとの思いから担当を決め集合している。

強い北風が去った10月27日(金)車をチャーターし13名の面々が伊香保温泉(日帰り入浴)と



リンゴ狩りを楽しんだ。



痛いところがあっても薬を飲み、悩みがあっても仲間と会って話すことで少しは解消する。仲間を大切にし、少しでも他の人のために何かしよう。

1月に新年会を行いました。

美術工芸科

絵画や陶芸は奥が深いよ・・・

「絵画・陶芸を楽しむ会」の作品発表会を平成29年8月10日～8月15日まで、八木橋デパートのオープンギャラリーで開催しました。



絵画17人24点、陶芸9人による作品、工芸作品1人の出品でした。旧盆の忙しい時期でしたが303人の方にご覧頂き、盛会の内に終わることができました。来年に向けて新たな意欲を頂くよい機会となりました。



ふるさと伝承科

きれいな花が咲いてくれました。

6月14日 第2回 春の花植え作業



7月26日 第5回 雨で中止です。



9月13日 第8回 草取り作業



10月25日 第11回 3月14日 第14回



自然を愛する会

自然は心を癒します

平成 29 年 4 月の総会・懇親会で今年度の実施計画を立て、総勢 21 名での活動が、5 月の赤城自然園散策からスタートしました。



とにかく自然の中を歩くことが原則ですので、幹事さんは常に天候のことを心配します。雨が降ると「雨男・雨女は誰か…」などと談笑しながら傘をさして歩いた事もありました。

自然豊かな都幾川溪谷でのバーベキューでは、肉や野菜を焼きながら大いに飲み騒ぎ楽しみながら親睦を深めることが出来ました。肉を忘れて家までとりに行ったハプニングも忘れられない思い出です。その他都内の旧古河庭園・小石川後楽園等の散策・上野村で不二洞（鍾乳洞）の見学、ダム地下にある東電の水力発電施設の見学もしました。静寂で“どでかい”広い空間にはびっくりしま



した。11 月の皆野破風山ハイキングでは、少しきつい所もありましたが、皆がんばって登りました。天気も良く、木々の紅葉、武甲山や秩父の山々の展望が素晴らしく心が洗われました。下山後は（満願の湯）で疲れを癒し帰ってきました。自然は心を癒します。来年も自然の中を散策することを中心に活動を進めたいと考えています。

新井 民男

ふるさと大発見

幼い頃を思い出して



👉 小中学生の頃を思い出して、南極観測船宗谷見学。この他に赤坂迎賓館内覧もできました（6月）。



👉 童心に帰って上野界限散策。動物園を中心に東大赤門、上野博士とハチ公像を見学しました（5月）。



👉 昨年に引き続き文学散歩その2。田舎教師が間借りしていた羽生市建福寺の6畳間に許可を得て入らせていただきました（4月）。

1 1月からは日光街道の埼玉六宿を散策する活動を始めています。

尾畑 宣成（記）

太極拳クラブ

みんなで頑張ってます



太極拳クラブでは昨年秋から、太極拳の最高峰「太極拳総合」に取り組み、その前半部分は前回の芸能祭で披露しました。今年は後半部分の練習を続けてきましたが、10月には最後まで行きつくことができました。覚えたかどうかは別ですが。

「太極拳総合」はさすがに最高峰だけに、今までとは違って動きの数が多く、難しい動きも多くなっています。特に後半では180度の回転が2回あり、よろけてしまうことがしばしばです。

しかし、私たちは太極拳を始めて5年のベテランですし、まじめで努力の人ばかりですから、次の芸能祭では「さすがだな。よくこれまでになったな。」と驚かれるような演技を披露できると思います。また、上達した私たちにふさわしい衣装に替える必要があるということで、ユニホームを新調しています。芸能祭に来ていただいた方は、演技と新しい衣装にびっくりされたと思います。

須田 重雄



民踊クラブ

踊って脳トレーニング

今年度2名入会し、小川先生を含め11名で活動しています。

普段は動かさない腕の上下運動、体の回転運動などをフルに使い、ボケ防止と健康増進に努め練習に励んでいます。今年は毎月1曲ずつ新曲を覚えることを目標に活動を続けました。メンバー全員が毎年芸能祭で発表するのを楽しみに踊り続けています。今回の芸能祭は、福島県相馬市の民踊で「原釜大漁祝い唄」を取り上げました。



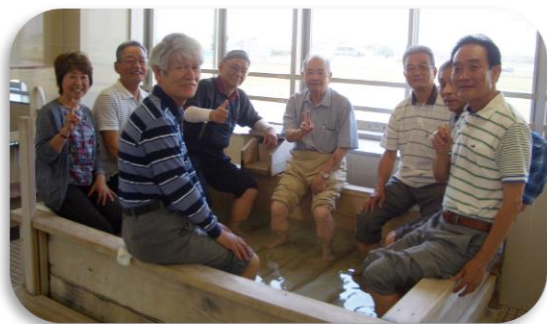
鹿沼 淳史

こころの健康クラブ

学びとボランティア

クラブでは、毎月第一、第三金曜日に熊谷市青少年ホームで「歎異抄」を学ぶとともに、市内の介護施設や子育て支援施設で傾聴ボランティアを行ってきました。また、今年度も課外研修で介護老人保健施設での1日研修を行い、みんなで足湯も体験しました。

そして、今年度から新たに特養施設ボランティアとして「洗濯物たたみ」支援活動を開始しました。



近藤 富男

毛筆クラブ

書道の古典に学ぶ

今年度より校友会毛筆クラブとして6人で活動を始めました。

中里先生の「我以外皆吾師」の motto のもと、今年度は般若心経を全員が緊張しながらも一字一句間違えないよう書き上げ、秩父札所へ納経に行ってきました。続けて書道の古典の学び方の指導を受け、王羲之の蘭亭序、新和様などの書体を学び作品作りに励みました。

11月には熊連協文化祭に出展し、また12月には深谷市民ギャラリーにて「書道～絵画展」を開催し、日頃の成果を皆で噛み締めました。



鹿沼 淳史

10月4日（水）午前中は寒気が漂う中参加者36人は大型バスで熊谷を出発しました。目的地は茨城県ひたち海浜公園です。

秋の北関東道を順調に進み10時30分に到着しました。記念撮影の後早速コキア（ほうきぐさ）の群生地の中をみはらしの丘目指して三々五々ゆっくり散策しました。コキアはみどり色から紅葉して次第にピンク、赤と美しく変化していきます。当日紅葉は3分位かと思われました。

株により紅葉の進み方がいろいろありました。紅葉が始まったばかりの初々しいくれない、大株の見事な赤など、それぞれ見とれながら山を登って下りてきました。すぐ下は太平洋が広々と続いていました。海無し県人は久しぶりに雄大な海を眺めるだけで嬉しくなりました。あまり混雑はしていなかったのに迷子になる班がありました。

その後那珂湊の魚市場に行き、さしみの昼食を頂きました。美味しい刺身にお酒が尚美味しかった人もいた様でした。すっかり空は晴れ上がり秋の海辺の散策をゆっくりしたいところでした。続いて干しイモ屋、めんたいパークと満腹に重ねて試食をし、お土産を買いこみ、帰途につきました。

帰りのバスはビンゴゲーム、カラオケとにぎやかに皆で懐メロなどを歌いながら、全行程を終え無事定刻に帰宅することが出来ました。

参加の皆様のご協力によりまして安全に終了できたことをお礼申し上げます。

企画委員会：太田、柴山、原、福原



パークゴルフ いや～マイッタ！

10月30日にパークゴルフを計画しておりましたが、台風21号の襲来により河川敷のゴルフ場が被害に遭い中止となりました。

改めて30年1月22日に「自然を愛する会」と共催で計画しましたが、これも又、大雪で中止！ ここまで来ると、中止の記事も記念になります。
(28年度のパークゴルフ模様を掲載いたします)



自前講座 熊連協で初めての開講！

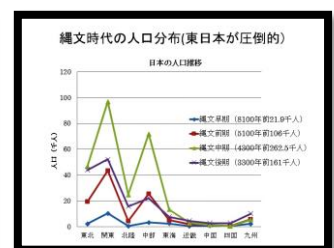
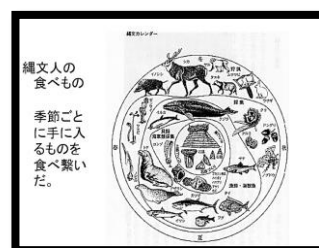
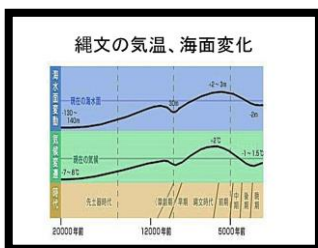


第1回自前講座は12月6日(水)12:00~13:30、(自称)歴史愛好家の須田重雄講師(ふるさと伝承科)により行われました。24人の聴講がありました。

テーマは「縄文海進が生み出した縄文時代」でした。今、縄文時代が見直され関心が高まっているところですが、今回は縄文海進と言われる気候変化がどのように日本列島の環境に影響を与えたか、それによってどんな縄文文化を生み出したかという内容でした。

現代の気候変動の著しい時代に、タイムリーに面白くまた考えさせられる講義でした。ランチオンセミナーの形でしたが熱心な学びができました。

この講座は次年度も続けていきたいと思っておりますのでご応募ください。



当日使用したパワーポイント資料の一部です。



学習会 笑う門には福来たる

9月11日(月)、熊谷市妻沼中央公民館大ホールにて 熊連協学習会を開催致しました。午後1:00 開場とはいっても、受付前には大勢の会員さんが、いまか今かごった返しています。



学習会は2部構成で、第1部に彩講会ロハスサポーター西村邦雄講師、第2部に「落語長屋おもしろ荘」の師匠4人をお招きし、講演と落語演芸を披露して頂きました。

「終活スタートとしての準備」と題し、西村講師から解りやすく時には笑いを加えてお話しくださり、あとに残された家族のことを思い、元気なうちに整理整頓していかなければならないことを学びました。



(花追亭みみ寿)師匠



(桂 小前治)師匠



(取締亭きせる)師匠



(車家小円)師匠

それぞれの師匠名に個性がありお人柄を垣間見ることが出来ました。笑いのプレゼントで久しぶりに笑いから元気をもらい、気持ちよいひとときでした。

第25回芸能祭 55組 述べ627名がステージに

2月17日(土) 妻沼公民館の大ホールで盛大に行われました。出演団体は55組、参加者数は延べ627名と熊連協会員の約半数がステージに立つという関心の深さでした。次々と華やかな楽しい演技が繰り広げられ出演者と観客が一体となって笑顔いっぱいの会でした。



2-4期は太極拳と民踊クラブが出演しました。太極拳クラブは新調した衣装で「太極拳総合」に挑戦し見事な演技を披露しました。民踊クラブは「原釜大漁祝い歌」をキリリとした半纏姿で勇壮な踊りをみせてくれました。1年間の練習を重ねての晴れ舞台を終えた嬉しそうな笑顔が印象的でした。たくさんの拍手は、来年に向けてきっとやる気を起こさせたことだと思います。



2-4期の芸能祭役割はプログラム司会でした。この役を逸見きよのさんが担当してくださり、美しい声と併せて当意即妙な見事な司会をされました。快く担当してくださいました。また本部役員、27人の実行委員、協力者が影の力となって大事業を支えており、校友会のそれぞれの人の持っているパワーの大きさを感じた芸能祭でした。



花壇ボランティア 是非お散歩に立ち寄ってください。

5月24日の第1回目を皮切りに平成30年3月14日まで14回の「花壇ボランティア」を計画しましたが、7月に雨で中止になった以外は実施することが出来ました。累計参加者は135名でした。



熊谷市立妻沼展示館大展示室で盛大に開催されました。熊連協会員からの出展総数は358点で私達2-4期からは25点の出展がありました。誌面に限りがありますので、1画像/人に絞り以下に掲載します。出展、有難うございました。（敬称を省略しています）



飯窪 善万 書（論語）



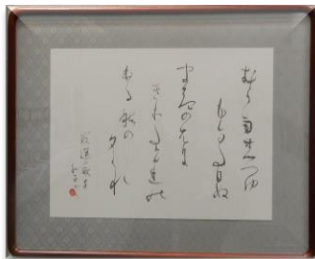
柳瀬 久 書（景福）



佐藤 健一 書（月到天心）



中里しげ子 書（かな）



立澤 和子 書（かな）



鹿沼 淳史 書（論語）



小田部賢司 油絵（人物）



柴山 幸子 油絵（少年）



福原美奈子 陶芸（心をこめて）



大塚 洋子 彫刻（椿の花）



船戸あけみ 油絵（古代ハス）



逸見きよの 日本画（けいとう）



中島美由喜 繭クラフト（干支、サギ草）



柴崎 一正
写真（ヒガン花咲く寺坂棚田）



塚田 東司 写真（茜空）



清水 昭治（横浜スケッチ）

俳句・川柳・短歌

じじばば 俳句

万作を愛でつつ仰ぐ無縁塔
 ふる伝 斎藤操
 早咲きの梅林に酔う熱海かな
 ふる伝 佐藤健一
 読み返す旅のしをりや年惜しむ
 福祉環境 富山由喜
 初釜や茶筌に残るうすみどり
 福祉環境 富山由喜
 片付けつつ手にとる妣の花日記
 美工 柴山幸子
 春耕の夫婦の会話訛りたる
 美工 柴山幸子
 さんぽ道飛び立つ雲雀声高し
 ふる伝 柴崎一正

じじばば 川柳

ゆずらない五輪いただきき清明で
 ふる伝 楊井の私
 叱られてもママが大好き孫娘
 福祉環境 岡田伸江
 検診日いつまで続く低カロリー
 ふる伝 一病息災男
 そだねえともぐもぐタイムの置き土産
 ふる伝 カー女子ファン

暗闇に夢中に歩む一年よ
 ふる伝 佐藤健一
 歩きたび骨がなるなる古希古希と
 美工 ゼン
 医者通い体力衰えが自己自慢
 美工 やなきゆう
 金、銀、銅釘付けされて熱くなり
 美工 やなきゆう
 ツイギー世代似合うはずだよミニスカが
 ふる伝 土石
 芸能祭老い一蹴して拍手で幕
 美工 清水昭治
 探し物医者通いで足腰じょうぶ
 美工 清水昭治
 最近では三歩下がって夫付いて
 美工 ばば猫
 お出かけはブランドジャージにはき替えて
 美工 ばば猫

じじばば 短歌

気がつけば昨日は眼科今日内科おてつないで
 福祉環境 きみちゃん
 明日はどこに

彩の国プラチナフェスティバル いきいき創作展 に出展



水彩画 題名【八丁湖 吉見】

2017年9月29日～10月2日、さいたま市プラザノースで開催された創作展に水彩画を出品しました。

高齢者の作品が477点集いました。迫力のある作風、丁寧な描写、意表をついたテーマなど、素晴らしい作品が続いておりました。

今年も熊谷学園の応募が少なく、勿体ないと残念に思いました。皆さんの作品を来年は是非出品できるように頑張らしましょう。

美術工芸 中村 尊次

編集後記

平成29年度の広報誌が完成しお手元にお届けすることができました。

会員の皆様から原稿や写真を提供し協力していただいたおかげと心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

皆様の活動のすべてを掲載することができないのが残念です。

今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



発行：平成30年3月31日
 いきがい大学熊谷学園二年制第4期校友会広報部
 部長：岡田伸江 委員：郡山 哲雄、逸見きよの、塚田 東司、池田 裕信